

# 世界の文化財 触れて

今回の福井新聞「こども記者」活動は24日、福井市の県立美術館を訪れます。バーミヤン、敦煌、法隆寺美術館では12日から8月25日まで、「東京藝術大学スーパークローン文化財展」が開催されます。当日は学芸員さんの案内で、手で触れて感じる展示会が行われます。

れます。分かりやすい解説で精巧に再現された数々の作品を知り、展示の工夫などを取材しましょう。  
奈良・法隆寺の国宝「釈迦三尊像」や、テロで爆破されたアフガニスタン・バミヤン東大仏天井壁画、ゴッホの絵画、歌川広重の浮世絵…。世界的な遺産や名品が、最先端デジタル技術と人の手で現代によみがえりました。見るだけでなく



リアルに再現されたゴッホの「自画像」。手で触れて絵の具の盛りを確認できる

## 24日、こども記者活動

### 県立美術館「クローン展」を取材

内で会場を見て回ります。世界最高峰の文化財を忠実に再現した驚きの技術や鑑賞の楽しみ方を知ることが出来ます。会場では受け付けや館内の案内、グッズ販売など大勢のスタッフが働き、展覧会を支えています。こども記者の皆さんも運営のお手伝いに挑戦できるかもしれません。  
インタビュウでは、学芸員さんに仕事の面白さや展覧会開催の苦労を聞いてみましょう。  
今回の活動は県立美術館に午後0時50分までに集合し、同4時ごろ解散予定です。こども記者の定員は6人。参加無料です。  
(加藤栄吾)

### 参加定員6人 16日まで募集

活動に参加するには、こども記者への登録が必要です。登録は①名前(ふりがな) ②性別 ③学校・学年 ④保護者の名前 ⑤郵便番号、住所 ⑥電話番号(携帯電話も)・メールアドレスを明記し、メールで申し込んでください。県内の小学4年〜中学3年なら誰でも登録できます。

こども記者に登録済みの場合、参加申し込みは名前と学校・学年のみでOKです。締め切りは16日。応募多数の時は抽選になります。  
申し込み、問い合わせは福井新聞「こども記者係」=メール [nie@fukushimbun.co.jp](mailto:nie@fukushimbun.co.jp)